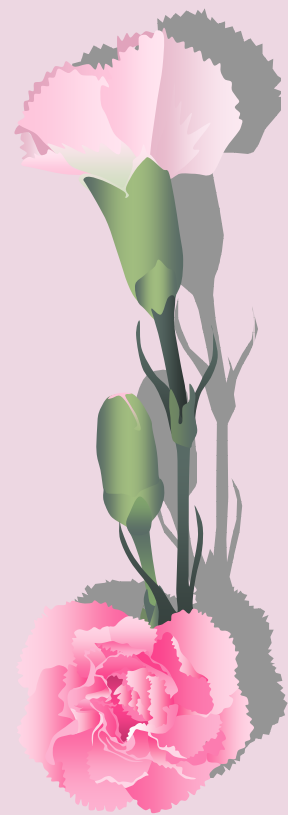


当院におけるフットケアの見直し

両国東口クリニック 透析科
増田慶子 渋佐久美子 渡部敦子
諸見里仁 大山恵子 大山博司



1. 目的

当院では、平成17年より透析患者に対し、定期的にフットチェックを行なっていた。

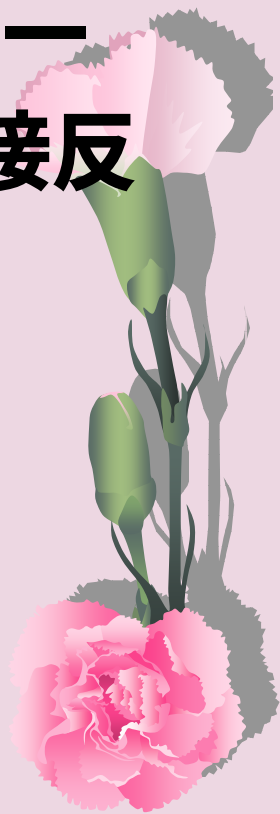
糖尿病重症化予防研修会にスタッフが参加したのをきっかけに、リスクの高い患者のフットチェックの見直しを強く感じた為、より深く観察・ケア出来る様、今まで行なっていたフットチェック・フットケアの見直し・検討を行なったので報告する。



2. 方法

ハイリスク患者に対し、新たに作成したフットチェック表を用いて実施・評価した。

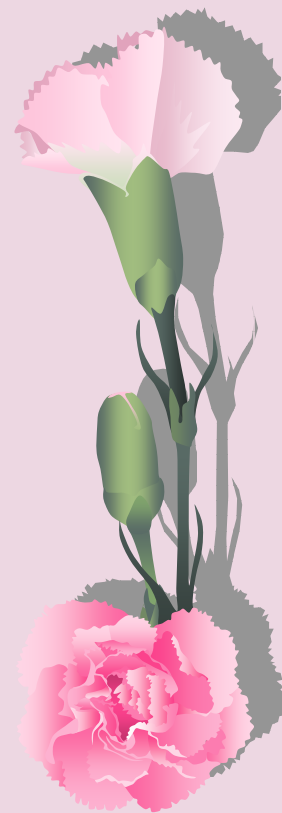
また、フットケア専用の電子カルテを作成し、Dr指示とナースなどが行なったケアが、一目瞭然に分かると共に、レセプトにも直接反映出来る様にした。



前のフットチェック表

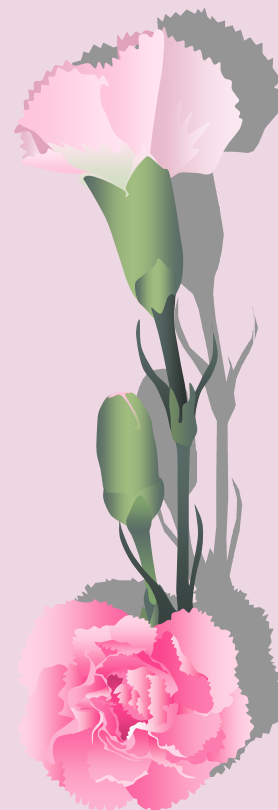
氏 名：		観 察 項 目 D M 用												
1	足 背 触 知	0 良好 1 弱い 2 十分探さないとわからない 3 全く触れない												
2	後 脛 骨 動 脈	0 良好 1 弱い 2 十分探さないとわからない 3 全く触れない												
3	知 覚 異 常	0 無し 1 有り												
4	し び れ	0 無し 1 時々有り 2 常に有り												
5	冷 感	0 無し 1 有り (A 自覚有り B 自覚なし)												
6	痛 み	0 無し 1 時々有り 2 常に有り												
7	皮 膚 異 常	0 無し 1 色が悪い 2 白癬治療中 3 D r 診断必要												
8	潰 瘍	0 無し 1 有り												
9	間 欠 性 跛 行	0 無し 1 有り												
10	爪 の 状 態	0 異常なし 1 色が悪い 2 巻爪 3 深爪 4 肥厚 5 白癬?												
11	A B I 測 定	測定不可はト*ッ*ラ-測定 (測定は末梢から開始し最初に触れた所で測定と×印)												
		/		/		/		/		/		/		
		右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
表														
裏														
記録														

下 肢 動 脈 血 管 エ コ - 実 施 日 H 年 月 日



氏名: [REDACTED]		観察項目												
1	足背触知	0 良好 1 弱い 2 十分深さないとわからない 3 全く触れない												
2	皮膚の色	0 異常なし 1 有り (例: 暗赤色)												
3	知覚異常	0 無し 1 有り												
4	しびれ	0 無し 1 時々有り 2 常に有り												
5	冷感	0 無し 1 有り (A 自覚有り B 自覚なし)												
6	痛み	0 無し 1 時々有り 2 常に有り												
7	浮腫	0 無し 1 有り												
8	乾燥	0 無し 1 軽度有り 2 乾燥著明 3 ひび割れ												
9	皮膚異常	0 無し 1 白癬治療中 2 Dr 診断必要												
10	潰瘍	0 無し 1 有り												
11	間欠性跛行	0 無し 1 有り												
12	爪の状態	0 異常なし 1 色が悪い 2 巻爪 3 深爪 4 肥厚 5 白癬?												
13	ABI測定	測定不可は Doppler 測定 (測定は末梢から開始し最初に触れた所で測定と×印)												
HPO.6 120		7 121		8 120		9 122		10 16		11 17		12 18		
右 左		右 左		右 左		右 左		右 左		右 左		右 左		
1	1	3	0~1	3	3?	3	0	3	0	3	0	3	0	
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12	1.4.5	1.4.5	1.4.5	1.4.5	1.4.5	1.4.5	1.4.5	1.4.5	1.4.5	1.4.5	1.4.5	1.4.5	1.4.5	
13	0.9	0.8					0.87		0.939		1.0			
表														
裏														
処置	昨年、10月、右下肢に留置		昨年、10月、右下肢に留置		昨年、10月、右下肢に留置		昨年、10月、右下肢に留置		昨年、10月、右下肢に留置		昨年、10月、右下肢に留置		昨年、10月、右下肢に留置	
記録	渡部		渡部		渡部		渡部		渡部		渡部		渡部	

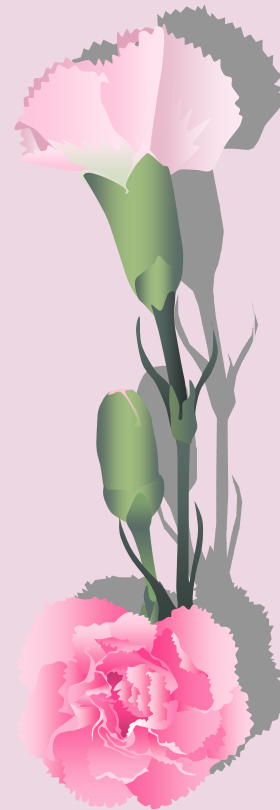
12/8 右 左
0 03
0 0
↓ ↓
1 1
0 0
0 0
0 0
1.245 1.34
0.79
右下肢ともに後脛骨A不可
有椎カミキリによる変形
↓ 右下肢A不可 留置中



フットケア アセスメント

- 目標 1. 糖尿病の足病変について理解できる。 2. 自分の足の状況を理解し、自己管理ができる。
3. 潰瘍・発赤・腫脹などの以上時の対応ができる。

氏 名					様
足潰瘍・切断の既往	☐ 無 ☐ 有 部位： 年：				
視力	☐ 白内障 ☐ 失明 ☐ 網膜症 ☐ 眼科通院の有無（ ） ☐ 視力（右 左 ）				
血管の状態	右		左		
1. 足の脈拍	足背動脈 後頸骨動脈 ☐ 触診可能 ☐ 触診可能 ☐ 微弱 ☐ 微弱 ☐ 不可能 ☐ 不可能		足背動脈 後頸骨動脈 ☐ 触診可能 ☐ 触診可能 ☐ 微弱 ☐ 微弱 ☐ 不可能 ☐ 不可能		
2. 血流障害の症状	間歇性跛行 ☐ 無 ☐ 有 安静時疼痛 ☐ 無 ☐ 有		Fontaine分類 I：しびれ・冷感 II：間歇性跛行 III：安静時疼痛 IV：壊死・潰瘍		
神経障害の状態	右		左		
3. 振動覚検査					
4. アキレス腱の反射	☐ 正常 ☐ 減弱 ☐ 消失		☐ 正常 ☐ 減弱 ☐ 消失		
5. モノフィラメント	5.07 ☐ 分かる ☐ 分からない（神経障害＋）		5.07 ☐ 分かる ☐ 分からない（神経障害＋）		
足の症状					
6. 履物	☐ 適切 ☐ 不適切 ☐ ヒール6cm以上 ☐ 足の甲が圧迫される ☐ つま先があたる ☐ 足幅が足に合っていない ☐ 足に合っていない ☐ かかとの隙間がない ☐ 中敷のクッション性が悪い				



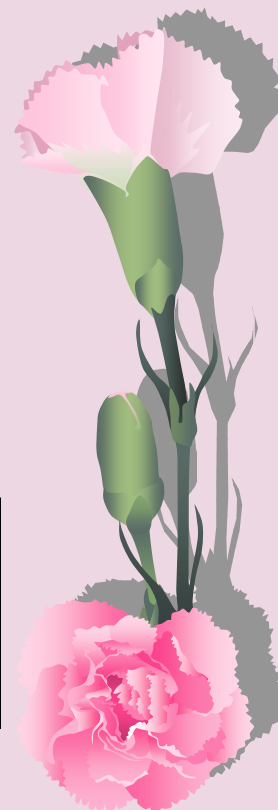
氏名：		様		観 察 項 目		右	左
1	足背触知	0 良好	1 弱い	2 十分探さないとわからない		3 全く触れない	
2	後頸骨動脈	0 良好	1 弱い	2 十分探さないとわからない		3 全く触れない	
3	知覚異常	0 無し	1 有り	モノフィラメント 5.07		1 分かる	2 分からない
4	しびれ	0 無し	1 時々有り	2 常に有り			
5	冷感	0 無し	1 有り	(A 自覚有り B 自覚無し)			
6	痛み	0 無し	1 時々有り	2 常に有り			
7	足の変形	0 外反母趾	1 ハンマートウ	3 へんぺい足			
8	清潔	0 清潔	1 不潔				
9	爪の状態	① 色が悪い ② 巻爪 ③ 深爪 ④ 肥厚 ⑤ 白癬 (番号を下に記入)					
10	下肢動脈エコー	実施日：平成 年 月 日					

色分け：チアノーゼ（青）、壊死（黒の塗りつぶし）、潰瘍（黒斜線）、発赤（赤）、乾燥（青斜線）、胼胝（赤塗りつぶし）



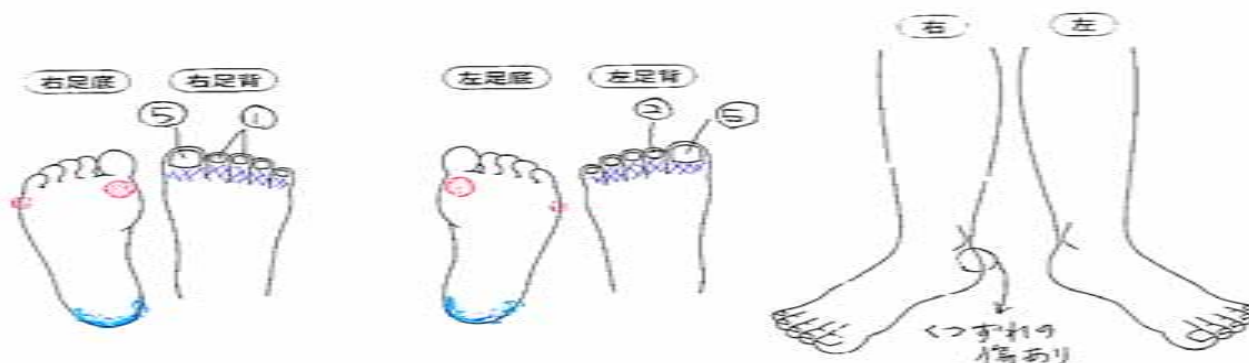
セルフケアの状態（ ）

処置	アセスメント	指導・計画



氏名：	様 観 察 項 目		右	左
1	足背触知	0 良好 1 弱い 2 十分探さないとわからない 3 全く触れない	3	3
2	後頭骨動脈	0 良好 1 弱い 2 十分探さないとわからない 3 全く触れない	3	3
3	知覚異常	0 無し 1 有り	1-2	1-2
4	しびれ	0 無し 1 時々有り 2 常に有り	/	/
5	冷感	0 無し 1 有り (A 自覚有り B 自覚無し)	1A	1A
6	痛み	0 無し 1 時々有り 2 常に有り	/	/
7	足の変形	0 外反母趾 1 ハンマートウ 3 へんぺい足	0	0
8	清潔	0 清潔 1 不潔	/	/
9	爪の状態	①色が悪い ②巻爪 ③深爪 ④肥厚 ⑤白癬 (番号を下に記入)		
10	下肢動脈エコー	実施日：平成 21 年 4 月 30 日		

色分け：チアノーゼ（青）、壊死（黒の塗りつぶし）、潰瘍（黒斜線）、発赤（赤）、乾燥（青斜線）、皸胝（赤塗りつぶし）



セルフケアの状態（自分では難しい。）

処置	アセスメント	指導・計画
- 爪ケア 施行 - 両足第1趾 皸胝 ありに？ 削り施行 - 泡足浴	清潔保難く 爪ケアも 自力では危険	- 毎月 爪ケア 施行 - 必要時 足浴

109.10.2

氏名:	様 観 察 項 目		右	左
1	足背触知	0 良好 1 弱い 2 十分深さないとわからない 3 全く触れない	0	0
2	後頭骨動脈	0 良好 1 弱い 2 十分深さないとわからない 3 全く触れない	2	0
3	知覚異常	0 無し 1 有り モノフィラメント 5.07 1 分かる 2 分からない	1	1
4	しびれ	0 無し 1 時々有り 2 常に有り	2	2
5	冷感	0 無し 1 有り (A 自覚有り B 自覚無し)	0	0
6	痛み	0 無し 1 時々有り 2 常に有り	0	0
7	足の変形	0 外反母趾 1 ハンマートウ 3 へんべい足	X	X
8	清潔	0 清潔 1 不潔	0	0
9	爪の状態	①色が悪い ②巻爪 ③深爪 ④肥厚 ⑤白癬 (番号を下に記入)		
10	下肢動脈エコー	実施日: 平成 20 年 10 月 1 日 狭窄なし → 狭窄中 10/2 現在		

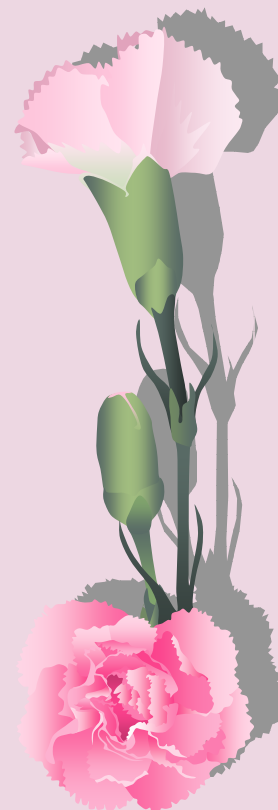
ABI
1.01

色分け: チアノーゼ (青)、壊死 (黒の塗りつぶし)、潰瘍 (黒斜線)、発赤 (赤)、乾燥 (青斜線)、腫脹 (赤塗りつぶし)



セルフケアの状態 (切爪は、視力悪為、感覚を行っていないと判別)

処置	アセスメント	指導・計画
	膝下全体が軽度の乾燥 ・視力が悪為、切爪は 感覚を行っていない	保湿剤塗布を勧めた → 血切カシートの絵で 寒いマウスをすすり着けた。 切爪時、視力があると思う。 今後は、ストッキングと靴の着用。



✿ 爪切りチェックシート ✿



✿ 爪切りチェックシート ✿

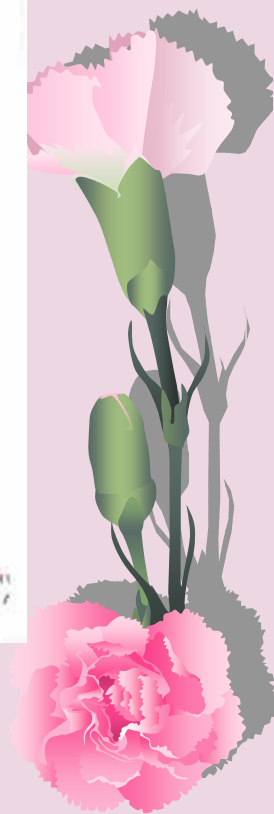


09.10.2

島 夫
さま

矯正視力で
右0.4
左0.8~0.9

この絵を見て笑った
すらすらとマークできた) 足の爪切り時、視力は見えるようだ、













掃除用ばけつ













医師名：
R. NS：技師

既往歴

S：いつ 時間 から 主訴

S 2：主訴

○：血圧 / 脈拍 体重 kg
体温 °C

☐ 足潰瘍 ☐ 下肢切断 ☐ 足趾切断 ☐ 既往
☐ 閉塞性動脈硬化症 ☐ 神経障害

検査結果： 右 左

下肢エコー	☐ 膝窩動脈狭窄 ☐ 後頸骨Δ狭窄 ☐ 前頸骨Δ狭窄 ☐ 足背Δ狭窄	☐ 膝窩動脈狭窄 ☐ 後頸骨Δ狭窄 ☐ 前頸骨Δ狭窄 ☐ 足背Δ狭窄
-------	---	---

ABI	☐ 0.9以下 ☐ 0.9以上	☐ 0.9以下 ☐ 0.9以上
-----	---	---

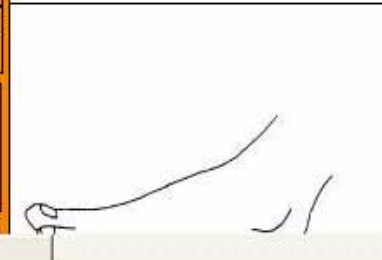
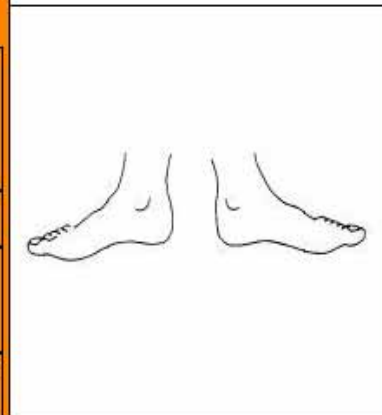
モノフィラメント	5.07 ☐ 分かる ☐ 分からない	5.07 ☐ 分かる ☐ 分からない
----------	--	--

アキレス腱反射	☐ 正常 ☐ 脆弱 ☐ 消失	☐ 正常 ☐ 脆弱 ☐ 消失
---------	---	---

振動覚	☐ 正常 ☐ 脆弱 ☐ 消失	☐ 正常 ☐ 脆弱 ☐ 消失
-----	---	---

処置：処置

日 月 年 時 分 秒



所見：

処方

印刷

終了

修正

病名

所見：

検査

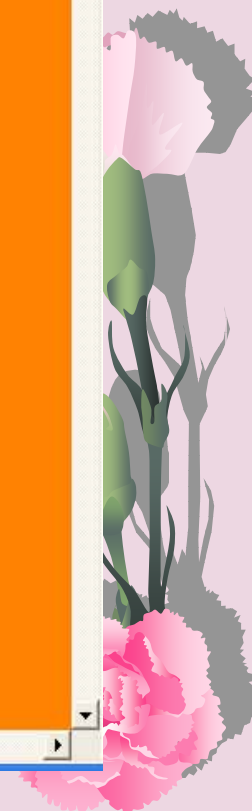
画像

所見：

原の地籍簿口。



所見：



処置：処置 胼胝削り（ガラスやすり） 爪白癬削り（ガラスやすり） 軟膏塗布 足浴

足の指導項目：

☐ 観察の重要性 ☐ 足の異常 ☐ 傷の処置方法
☐ 爪の切り方 ☐ 靴の選び方 ☐ 足の保湿方法

奴置担当者コメント： 奴置

配置担当者：指導内容



所見：	
-----	--

所見：	
-----	--

時間：30分

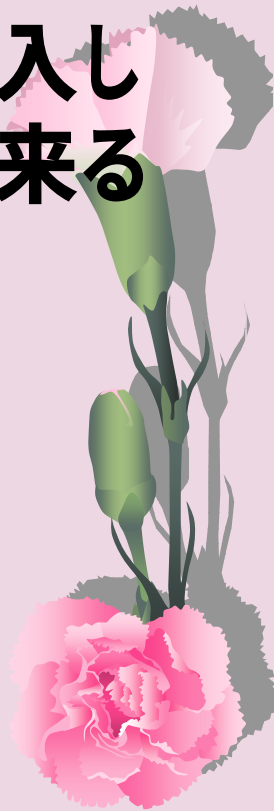
内科 大山 恵子

首)糖尿病合併症管理科

-170-

3. 結果

今回、ハイリスク患者用のフットケアアセスメントシート・チェックシートを実施・作成し、足に影響する色々な因子を発見しやすくなった。
また、チェックシートを大きくしたことで、記入しやすくなり、小さな変化も継続的に観察出来るようになった。



4. 考察

現在、ハイリスク患者のフットケアに関しては、フットケア係とDr間での関わりである。

その為、今後スタッフにも浸透させていく事や、手技・技術の向上なども課題である。

今後も継続的にフットケアを行なっていく、更に検討・修正を行なっていきたいと考える。

